

# 平成26年度教員相互の授業参観カード

報告者氏名[ ]

## 1 参観した授業

授業者		日時	平成 年 月 日( ) 第 限
教科(科目)		クラス	

→参観後は本紙をコピーして、授業者や教務部担当者(小池)のアレンジャーへ提出ください。様式データはサーバー教務部に有。

## 2 授業者への提案・意見等

### I 【観察のポイント表】 ○: すぐれている点(3項目) △: 改善するとよい点(2項目)

視 点	観察する項目	チェック
①指導内容	1. 教材が適切に使用され、十分な教材研究がなされている。	
	2. 指導内容のレベルは、生徒の学力に照らして適切である。	
②授業展開	3. 本時の目標達成に向けて、授業展開は適切である。	
	4. 生徒の理解度・到達度の把握が随時行われている。	
③指導形態	5. 生徒の理解を促すように、発問や板書が工夫されている。	
	6. 生徒個々が、授業への参加意識を持てる場が設定されている。	
④学習態度	7. 生徒は、授業に集中している。	
	8. 生徒は、学力の定着のための努力(予習・復習、ノート等)をしている。	
⑤思考過程	9. 生徒に論理的思考力を身に付けさせる授業展開になっている。	
	10. 既習範囲や他教科の知識との関連に気づかせる授業展開である。	
⑥学習反応	11. 生徒は、発問や学習課題に対して積極的に取り組んでいる。	
	12. 生徒は、わからない点を積極的に質問している。	

### II 【授業全体に対するご意見及び観点別改善提案等】 (△項目に関する改善提案等)

授 業 全 体	
観点番号	
観点番号	

※必要に応じて、枠の拡大をしてください。また、実技・実習科目については適宜、視点や観察する項目について、準用してください。

◆学校活性化プログラムによる校内研修の一環として、スーパーグローバルハイスクール (SGH) 事業に関する授業改善で、下記研修テーマのそれぞれの観点に沿って工夫されている該当項目に○を付け、具体的な事項を記載してください。

コミュニケーション 能力の育成		〈具体事項〉
言語活用能力の育成		〈具体事項〉
課題解決能力の育成		〈具体事項〉